

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 森の宮福祉会	代表者	石塚 克哉	法人・事業所の特徴	基本理念「笑顔・まごころ・ハーモニー」を念頭に寄り添う介護、支援を職員一同取り組んでいます。「通い」を中心に「訪問」「泊り」を組み合わせたサービス提供を行っています。音楽を取り入れたリハビリやレクリエーションにも力をいれています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ハミングベル緑橋	管理者	小栗 健太		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各項目の改善計画を取り組みやすいように業務の中に取り入れ、日頃から継続して行なえるようにしていく。	職員間の情報共有については特に良くできている。個別の「～したい」という事のサービス提供ができていない。	具体的に改善されている項目もあり、全体的に取り組めている。改善計画では具体的でない感じがする項目もあった。	改善計画の内容を簡潔にまとめ、事業所内に掲示し日々、振り返りながら業務に取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	落ち着きやすい環境を作るために季節に応じた飾りや利用者に合わせてレイアウト変更したり、落ち着く場所を提供したりしていく。	落ち着きやすい環境のため、季節に応じた飾りや家庭的な雰囲気作りをしている。個室の活用もやっている。	特に匂いなど不快な印象はない。家族や地域の方が来てもらいやすくするために定期的に行事を行っている。	利用している方が落ち着け、安全に過ごせる環境作りを行うために見直しを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	地域行事に参加したり、地域への外出の機会を増やしたりして、地域との関わりを多くもつ。	地域行事に参加や施設の行事（夏まつり・餅つきなど）に地域の方に参加してもらい地域との関わりを持つようにしている。	東中本地域や町会とのかかわりをしっかりと持っている。地域の行事に参加している。	地域の行事に参加したり、町会との関わりを持つために行事を行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域資源を把握して情報提供すると共に必要に応じて地域の方との連携、会議を行ない地域での暮らしを支えていく。	地域資源の把握に努め、必要時に情報提供を行っている。地域の機関との会議にも参加している。	利用者以外の地域の心配な方への関りは難しいと思う。地域の情報を集めたり共有したりしてくことが大切だと思う。	地域資源の情報を集め、共有できるようし、利用者が地域と関わりを持てるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	行事や事故の報告を通して事業所を知ってもらい、改善点等の意見をいただく。改善点は運営に取り入れ、そのことについても報告する。	運営推進会議では、行事や事故などの報告を行っている。会議内で出た意見を運営に反映している。	地域の方の事例検討は個人情報からの観点から難しいと思う。映像での報告はわかりやすい。	事業所の取り組みを分かりやすく報告し、会議内で出た改善等の意見を参考にし、事業運営を行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の方と協働して消防訓練を行なう。また地域との連携のとり方や対応内容を定めていく。	地域との共同した消防訓練を行っている。また、事業所のみでの水害の避難訓練も行っている。	実際の災害では多くの対策が必要になるので、一つの事業所単位ではなく法人単位の検討が必要と思われる。	消防訓練と共に水害の避難訓練も実施し防災の対応を都度見直していく。備蓄についても整えていく。